

コロンビア月例報告（3月分）

経済情勢

2015年4月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

- 2日から6日までの日程で、ボゴタにて日・コロンビア EPA 交渉第 10 回会合が開催された。
- カルデナス財務・公債相、ディアス・グラナドス米州開発銀行（IDB）コロンビア政府代表及びラコトゥール PROCOLOMBIA 総裁が訪日し、経団連日本コロンビア経済委員会に出席するとともに、日系企業と会合した。
- 17日、DANE（国家統計庁）は、2014年第4四半期及び2014年通年の実質 GDP 成長率がそれぞれ前年同期比+3.5%、前年比+4.6%であった旨発表した。
- カルデナス財務・公債相は、2015年の経済成長率を4.2%と予想している旨発表した。

II 主な出来事

<国内情勢>

（1）実質 GDP 成長率（17日、プレスリリース）

17日、DANE（国家統計庁）は、2014年第4四半期及び2014年通年の実質 GDP 成長率がそれぞれ前年同期比+3.5%、前年比+4.6%であった旨発表した。産業別にみると、資源価格の下落及び生産量の減少等の要因により鉱業（▲0.2%）が唯一のマイナス成長を記録した。一方、建設業は前年同様、部門別で最も高い成長率を記録して好調を維持した。

（2）経済見通し（12日、19日及び31日、プレスリリース及び当地紙報道）

カルデナス財務・公債相は、油価下落がある一方で、工業、農業及び観光業においてペソ安ドル高の良い影響を受けることから、2015年の経済成長率を4.2%と予想している旨発表した。

中銀は油価下落を補填するために、建設業、工業、農業、鉱業及びサービス業を促進する必要性を提起した。

カルデナス財務・公債相は油価下落により、2015年の政府収入が14.5兆ペソ減少する。他方、新たな税制改革による税収の増加、政府支出の削減及び国債発行の必要性がある旨述べた。

（3）国家開発計画（20日、当地紙報道）

上院及び下院の第3委員会は、2014年～2018年国家開発計画を可決した。なお、可決された計画の予算は703.9兆ペソ（約3,060.4億ドル）で経済社会政策審議会（Conpes）が承認して国会に上程された内容と同じである。

(4) 企業動向

(ア) 古河電工 (12日, 当地紙報道)

古河電工コロンビアは、光ケーブルとともにコネクタ部品の生産を開始した。なお、同部品の生産は第2フェーズとされ、工場開所から2年ほどかかるとされていた。ホアジ・シャイクザデー古河電工中南米社長は、9月からは第3フェーズとして住居用引込みケーブルの生産を開始する旨述べた。

(イ) 日産自動車 (14日, 当地紙報道)

排出ガス軽減を目的とした電気自動車パイロットプロジェクトの一環として、日産リーフがコロンビアに到着した。

(ウ) マツダ (26日, 当地紙報道)

マツダコロンビアは、2015年1月及び2月の販売が前年同月比で38%増加した旨発表した。また、2015年は前年比17%増と見込んでいる。

(5) ボゴタメトロ整備計画 (26日, 当地紙報道)

ボゴタ市関係者及び政府関係者は、ボゴタメトロ整備計画1フェーズの入札が2016年中頃になるであろう旨発表した。

<対外経済関係>

(1) 対日EPA関連 (6日及び9日, プレスリリース及び当地紙報道)

2日から6日までの日程で、ボゴタにて日・コロンビアEPA交渉第10回会合が開催された。交渉分野18のうち、ビジネス環境整備、競争、電気通信サービス、商用目的の国民の入国及び一時滞在、衛生植物検疫措置(SPS)、貿易の技術的障害(TBT)、越境サービス、貿易救済、制度的事項、知財、金融サービス、電子商取引、貿易と持続可能な開発、協力の14分野について実質合意した。なお、次回会合は東京で5月に行われる予定であるが、具体的な日程については今後外交ルートを通じて調整される。

アルバレスーコア商工観光相は、現時点における交渉の成果について満足している。日本は世界第3位の経済大国であるとともに、食糧輸入大国でもある。コロンビアは1億2,700万人を有する市場に優先的にアクセス出来ることとなる旨述べた。

(2) 対日関連

(ア) 経団連日本コロンビア経済委員会 (30日及び31日, プレスリリース及び当地紙報道)

30日、カルデナス財務・公債相は、経団連日本コロンビア経済委員会において、コロンビア政府は日・コロンビアEPA交渉を成し遂げる意義を感じている。また、農業製品の市場拡大に多大な関心を抱いている。また、アジア地域からは、第4世代道路網整備プロジェクト(4G)及びボゴタメトロのような巨大インフラプロジェクトに対し、官民連携スキームに基づいて日本側が参画することに大いに期待している旨発言した。

(イ) コロンビア経済界関係者の訪日 (30日, プレスリリース及び当地紙報道)

カルデナス財務・公債相、ディアスーグラナドス米州開発銀行(IDB)コロンビア政府代表及びラコトゥール PROCOLOMBIA 総裁は、東京において輸入企業かつ投資企業である三菱商事株式会社、イオン株式会社及び豊通食糧株式会社と会合した。また、ラコトゥール総裁は同会合に続き、株式会社日立製作所及び株式会社NTTデータと個別に会合した。

(ウ) コロンビア産鶏肉輸出 (2日, 5日及び7日, 当地紙報道)

コロンビア農牧庁 (ICA) は鶏肉が日本市場に輸出される見通しである旨発表するとともに, 日本の衛生機関がコロンビアの養鶏場にかかる衛生規定の効力を認証する旨述べた。アンドレス・バレンシア・コロンビア養鶏連盟会長は, 衛生問題は解決したが関税の問題が残っている。経済ミッションを率いて訪日し, 業界幹部, 衛生管理の代表者, 輸入業者及び政府関係者と会合する予定である旨発表した。

(3) 対エクアドル関連 (10日, 当地紙報道)

11日, エクアドル政府はコロンビア及びペルーに対する緊急輸入制限を解除すると同時に, 一般セーフガード (5%~45%) を新たに発動する旨発表した。

(4) 対インド関連 (4日, 当地紙報道)

クマル駐コロンビア・インド大使は, インドはコロンビアとの FTA について関心を有している旨述べた。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

1月の実質工業生産指数 (コーヒー豆加工を除く) は前年同月比▲2.5%であった。

(イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

1月の実質小売売上高指数は前年同月比+6.1%であった。

(ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

2月の消費者信頼感指数 (ICG) は, 14.0%と前月 (17.9%) を 3.9ポイント下回り, 前年同月比でも 1.7ポイント下回った。

(2) 産業動向

(ア) 原油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

2月の石油生産量は日量 102.7万バレルであり, 前年同月比+2.5%となった。

(イ) コーヒー

(i) 生産 (コーヒー生産者連盟 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による2月のコーヒー生産量は 102.9万袋 (1袋=60kg) となり, 前年同月比で 17.7%増加した。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

3月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均 1ポンド=1.54ドル (前月は同 1.74ドル, 前年同月は同 2.11ドル) であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

2月の消費者物価上昇率は+4.36% (前年同月比, 以下同), 生産者物価上昇率は▲1.98%であった。

(イ) 雇用

2月の全国平均失業率は 9.9%と, 前年同月の 10.7%より 0.8ポイント改善した。また, 主要 13都市の平均失業率は 10.0%と, 前年同月の 11.2%より 1.2ポイント改善した。

(4) 貿易収支 (DANE 発表)

1 月の貿易収支 (FOB) は、17.98 億ドルの赤字であった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比▲39.8%の 28.75 億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比 0.8%の 48.85 億ドルとなった。

(5) 対内直接投資 (中銀発表)

2014 年の対内直接投資が 160.54 億ドルで、前年同期比▲0.9%と発表した。

Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	14/1	2014/11	2014/12	2015/1
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	0.1	▲0.9	2.1	▲2.5
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	▲0.4	▲1.9	0.7	▲2.8
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	6.5	8.4	9.6	6.1
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	176.5	150.3	252.4	184.3
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	14/2	14/12	15/1	15/2
(ア) 全国平均	10.7	8.7	10.8	9.9
(イ) 主要13都市平均	11.2	9.3	11.8	10.0
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	14/2	14/12	15/1	15/2
(ア) 前月比	0.63	0.27	0.64	1.15
(イ) 前年同月比	2.32	3.66	3.82	4.36
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	14/3	15/1	15/2	15/3
	3.25	4.50	4.50	4.50
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	14/3	15/1	15/2	15/3
(ア) 月初	2,046.75	2,392.46	2,441.10	2,496.99
(イ) 月末	1,965.32	2,441.10	2,496.99	2,576.05
(ウ) 最高値	2,052.51	2,452.11	2,500.59	2,677.97
(エ) 最安値	1,965.32	2,361.54	2,371.31	2,496.99
(6) 株式指数COLCAP (単位：ポイント，出所：COLCAP)	14/3	15/1	15/2	15/3
(ア) 月初	1,504.44	1,483.89	1,408.20	1,342.89
(イ) 月末	1,688.30	1,389.00	1,367.58	1,303.16
(ウ) 最高値	1,688.30	1,483.89	1,437.03	1,342.89
(エ) 最安値	1,504.11	1,376.17	1,361.95	1,249.83
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	14/1	14/11	14/12	15/1
(ア) 輸出額 (FOB)	4,775.2	3,828.0	3,767.6	2,875.1
(イ) 同 年内累計	4,775.2	51,060.5	54,794.8	2,875.1
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,617.8	5,113.5	5,220.3	4,672.7
(エ) 同 年内累計	4,617.8	55,867.5	61,087.8	4,672.7
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	14/1	14/11	14/12	15/1
	318.8	N/A	N/A	N/A
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	14/3	15/1	15/2	15/3
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,586	8,264	7,963	7,964
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	14/2	14/12	15/1	15/2
(ア) 単月	24,371	32,355	21,512	22,518
(イ) 年内累計	47,364	328,526	21,512	44,030

(了)